



いきいき雪国やまがたづくりに向けた 取組みについて



いきいき雪国やまがた推進県民会議
令和元年8月29日



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて ～「いきいき雪国やまがた基本条例」の制定（H30.12月）～

東日本初・全国2例目

本条例の制定により、**すべての県民が安心して暮らし、国内外から多くの人々が訪れる「いきいき雪国やまがた」**を実現

条例のポイント

* 以下を**基本的な考え方**として、雪に関する施策を展開

- ① 県民の生命、身体及び財産を降積雪による災害から保護すること
- ② 自助、共助、公助による総合的な除排雪を推進すること
- ③ 雪に培われた文化を尊重し、雪に親しむ意識を醸成すること
- ④ 雪の利活用により産業振興及び地域活性化を推進すること
- ⑤ 技術イノベーションにより冬期間の快適な生活を実現すること
- ⑥ 県、市町村、事業者、県民が適切に役割を分担し、連携、協力すること

* 雪に関する**基本的な施策**として以下のとおり推進

- I. 雪に強い県づくり（雪に強い都市形成や道路網の整備 等）
- II. 豪雪災害対応（豪雪時の集中的な除排雪の実施 等）
- III. 地域における除排雪の推進（地域の除排雪活動の担い手確保、安全な除排雪活動の推進 等）
- IV. 雪を利活用した地域活性化（雪を利活用した観光の振興、克雪技術イノベーションの推進 等）

* 上記施策を推進するため、新たな計画策定、推進体制の整備、財政措置を講じる



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

山形県雪対策行動計画 (H29～H33)

『いきいき雪国やまがた』を目指し、以下のテーマ・施策に基づき、各種の克雪・利雪・親雪の取組みを推進

テーマI 雪の魅力を最大限に活かした雪国づくり

- | | |
|--------|--|
| 施
策 | (1) 雪国の歴史・文化への誇りと愛着の醸成 (雪に親しむ地域活動・教育の推進 等) |
| | (2) 「雪国やまがた」のブランド化による冬の観光誘客の拡大 (雪祭り・冬季イベントの拡充 等) |
| | (3) 雪を活かした地域産業の振興 (雪に関する技術・製品の開発促進 等) |

テーマII 「住んでよし」の安全・安心な雪国づくり

- | | |
|--------|--|
| 施
策 | (1) 除排雪体制の強化 (地域除排雪体制の充実、雪下ろし担い手の確保 等) |
| | (2) 暮らしの快適性の向上 (克雪住宅等の普及拡大、冬期間の空き家対策の推進 等) |
| | (3) 安全・安心意識の向上 (普及啓発等の推進、降雪予測等の情報提供 等) |

テーマIII 雪国の暮らしを守る基盤整備

- | | |
|--------|--|
| 施
策 | (1) 快適な歩行空間の確保 (無散水消融雪施設の整備、県道における流雪溝の整備 等) |
| | (2) 雪に強い道路交通の確保 (防雪柵・雪崩防止施設の整備、信号機の着雪防止対策 等) |
| | (3) 防災に係る基盤整備及び防災体制の確立 (豪雪時の関係機関との連携・協力体制 等) |

2



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

テーマI 雪の魅力を最大限に活かした雪国づくり

1. 取組方向

- | |
|--|
| (1) 雪国の歴史・文化への誇りと愛着の醸成 |
| ・雪に親しむ地域活動・教育の推進 (やまがた雪文化マイスターの認定・活用 等) |
| ・県民への情報発信の強化 (ウェブサイトによる雪の利活用等に向けた情報発信 等) 等 |
| (2) 「雪国やまがた」のブランド化による冬の観光誘客の拡大 |
| ・雪祭り・冬季イベントの拡充 (やまがた雪フェスティバルの開催 等) |
| ・冬の魅力の創出と発信の強化 (東北各県との連携による冬の魅力の情報発信 等) 等 |
| (3) 雪を活かした地域産業の振興 |
| ・雪氷熱の利活用促進 (雪氷熱の有効活用に向けた研究 等) |
| ・雪に関する技術・製品の開発促進 (技術面の相談や補助金による支援 等) 等 |

2. 現状 (H30)

- | | | |
|--------------------|----------------|--------------|
| ◎ やまがた雪文化マイスターの認定数 | 30件 | / 計画：30件 |
| ◎ 冬期イベント入込数 | 917.3千人 | / 計画：801.8千人 |
| ◎ 外国人旅行者受入数 | 25万人 | / 計画：22万人 |
| ◎ 雪氷熱を利用した取組件数 | 4件 | / 計画：4件 |
| ● 雪関連の技術・商品の開発件数 | 5件 | / 計画：6件 |



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

① やまがた雪文化マイスターの認定

やまがたの未来を担う子どもたちに、雪国の文化や冬の楽しさを伝える人材を「やまがた雪文化マイスター」として認定し、活動の普及促進を図るとともに、雪に親しむ機運の醸成を推進。昨年度は9の団体・個人を新たに認定し、その活動内容を発信

- 認定件数：30件（23団体、7個人）
- 認定マイスターの主な活用実績
 - ・ フリーぺーぺーに活動内容を掲載
 - ・ 体験ワークショップの開催
 - ・ 作品展示ブースを出展



高橋伸一氏（真室川町）
藁細工作品の作り方を教えている様子



雪の学校実行委員（小国町）
雪山ハイキングの様子



フリーぺーぺーにおける
マイスター紹介

4



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

やまがた雪文化マイスター一覧

★ : H30新規

団体（23団体）

No	団体名	市町村	活動内容
1	市野々集落	尾花沢市	山刀伐(なたぎり)峠かんじきツアー
2	清流と山菜の里ほその村	尾花沢市	冬山トレッキング、メープルサップ採取体験
3	愛宕神社裸参拝実行委員会	尾花沢市	愛宕神社裸参拝（毎年1月に、裸参拝を実施）
4	いぬかわ振興協議会	川西町	農地を活用したスノーモービル体験
5	鳥海やわたインタークリー協会	酒田市	冬山トレッキングなど自然体験活動
6	藁細工SAKICHIL	新庄市	藁細工作品の制作・伝承（県内外のワークショップ開催等）
7	大石田町アウトドアクラブ遊Be隊	大石田町	スノーシュートレッキングの開催
8	新庄市グリーンツーリズム推進協議会	新庄市	「雪国ワンダーランド」における冬のアクティビティの実施
9	Oh！蔵SPORT	大蔵村	雪を掘る速さを競う「地面出し競争WORLD CUP」開催
10	真室川町スポーツツーリズム実行委員会	真室川町	「ホワイトアスロンワールドカップ」の開催
11	梅の里 雪遊会	真室川町	スノーモービル体験の実施
12	雪の学校実行委員会	小国町	雪山でのハイキング行う「雪の学校」の開催
13	小玉川青年団 イチコロ	小国町	雪の巨大迷路等を楽しむイベント「雪の中の大冒険」の開催
14	西置賜ウインターナイツツーリズム推進協議会	長井市	スノーモービル体験の実施
15	遊佐町鳥海山観光ガイド協会	遊佐町	鳥海山の氷柱を巡るスノートレッキングの実施
16	一般社団法人飯豊町観光協会 ★	飯豊町	どんでん平スノーパークの運営
17	西吾妻山案内人クラブ ★	米沢市	雪原を歩くツアーや、冬山トレッキングを実施
18	米沢市上長井雪菜生産組合 ★	米沢市	雪菜に関する学習機会や、体験活動等の提供
19	山の内地域づくり協議会 ★	村山市	スノーシュートレッキングや「山の内雪まつり」の実施
20	月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会 ★	西川町	「月山志津温泉雪旅籠の灯り」を実施
21	月山朝日ガイド協会 ★	西川町	スノーシュー・ガイドの実施や、雪山のリスクを学ぶ講習会を開催
22	舟形町わら細工愛好会 ★	舟形町	藁細工の制作・伝承活動を実施
23	つる工芸の会 ★	小国町	つる細工の制作・伝承活動を実施

個人（7名）

No	氏名	職業	市町村	活動内容
1	叶内 周	会社員	新庄市	里山を活用した冬のアクティビティ（雪像づくり、スノーモービル等）
2	松原 英俊	鷹匠	天童市	鷹匠としての自然体験活動（鷹とともに歩く雪山トレッキング）
3	高橋 伸一	農業	真室川町	藁細工作品の制作・伝承（県内外でのワークショップ開催）
4	加藤 真一	会社役員	米沢市	冬山トレッキングの開催
5	清野 真由美	旅館勤務	西川町	月山和紙を活用した工芸品の作成（ワークショップの開催）
6	佐藤 道信（小国わかさぎ会）	会社員	小国町	わかさぎ釣り体験の実施
7	本間 信義 ★	民宿経営	小国町	巨大「かまくら音泉」の設置



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

② いきいき雪国やまがた情報サイトによる情報発信

安全・安心に対する意識の向上、雪の魅力の再認識、
雪の利活用の促進に向けた情報を幅広く発信
昨年度は、インバウンド効果の創出を図るために、
英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語に多言語化※
併せて、海外向けのSNSでHPを紹介・PR

URL : <http://ikiikiyukiguni-yamagata.com/>

※ 第2回県民会議（H29.11月）での意見に基づき実施

< 主な掲載情報 >

- 冬のイベント情報
- 雪文化マイスターの活動紹介
- 雪室等の雪氷熱利用の事例紹介
- 雪関連のお土産菓子の事例紹介
- 広域除雪ボランティアの募集案内
- 安全な除排雪の普及啓発



HP掲載事例（雪氷熱）
「利雪型貯蔵庫」（舟形町）
・雪の冷却エネルギーにより
玄米を保管



情報サイトページ

6



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

③ 雪国文化の魅力の普及啓発

第4回やまがた雪フェスティバルにおいて、雪文化マイスターの活動紹介ブースを出展

昨年度は、H30新規認定マイスターの作品展示や、マイスターの活動紹介パンフレットの設置など、ブース内容を拡充

- 開催日 平成31年2月2日（土）～3日（日）
- 会場 最上川ふるさと総合公園（寒河江市）内
- 内容
 - 月山和紙を使った雪洞の作成体験
 - 藁細工「編みトウガラシ」の作成体験
 - マイスター作品（藁細工、つる細工等）の展示



月山和紙を使った雪洞作成体験 藉細工「編みトウガラシ」作成体験



マイスター作品 観覧者の様子 マイスター作品



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

④ 雪の利活用セミナーの開催

県民に対して雪が貴重な地域資源であることの認識を促し、雪を活用した地域活性化の取組みを促進するため、セミナーを開催

雪国観光圏の井口氏を講師として招き、雪を活かしての、着地型旅行商品の造成や地域ブランディングの考え方等を学んだ

- 開催日 平成31年1月16日（水）
- 場 所 県庁2階講堂
- 内 容 講演：「真白き世界に隠された知恵に出会う」
講師：（一社）雪国観光圏 代表理事 井口智裕 氏
- 参加者 55名（行政関係者、観光業関係者、地域活動の実践者 等）



雪国観光圏 井口智裕 氏



セミナーの様子



8



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

テーマⅡ 「住んでよし」の安全・安心な雪国づくり

1. 取組方向

(1) 除排雪体制の強化

- ・地域除排雪体制の充実（地域共助による除排雪への支援、広域除雪ボランティアの活動推進 等）
- ・雪下ろし担い手の確保（「雪下ろし有償ボランティア」の普及 等） 等

(2) 暮らしの快適性の向上

- ・克雪住宅等の普及拡大（克雪化に向けた住宅リフォームへの支援、融雪型克雪住宅の普及 等）
- ・冬期間の空き家対策の推進（市町村が行う空き家除排雪への支援 等） 等

(3) 安全・安心意識の向上

- ・普及啓発等の推進（安全な雪下ろし・除雪作業等の普及啓発活動の実施 等）
- ・降雪予測等の情報提供（雪情報システムによる降雪予測等の情報提供 等） 等

2. 現状（H30）

- やまがた除雪志隊登録者数 **968名**／計画：850名
- 雪に強い住宅リフォーム補助件数 **2,035件**／計画：1,600件
- 昨冬の豪雪による雪害事故 67名（H29：170件）
うち死亡件数 10名（H29： 16件）
- 新たな雪下ろしの担い手の確保に取り組む市町村数 4団体／計画：5団体

9



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

① 雪害事故防止キャラバン出発式の開催

本格的な降雪期を前に、雪害事故防止を広く県民に周知し、県民総ぐるみの運動となるよう機運醸成を図るためキャラバン出発式を開催

雪害事故件数の多い高齢者への訴求力を高めるため、昨年度は孫世代である幼稚園児による呼びかけを実施

- 開催日 平成30年11月29日（木）
- 場 所 県庁舎前県民緑地広場
- 参加者 県、市町村、除雪ボランティア団体等、関係者約100名参加
- 内 容
 - ・ 雪害事故防止宣言（除雪ボランティア団体の代表1名、民生委員の代表1名が宣言）
 - ・ 幼稚園児による安全な雪下ろし作業の呼びかけ
 - ・ 広報物品交付式
 - ・ 広報車出発式



広報物品交付式の様子



広報車出発式の様子



広報車に手を振る幼稚園児童

10



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

② 雪害事故防止強化月間の設定と集中的な啓発活動の実施

厳冬期に安全な除排雪の啓発を集中的に行う「雪害事故防止強化週間」を、新たに月間として設定し、これまでの普及啓発活動を充実強化

特に、雪害事故件数の多い高齢者の雪害事故防止に向けた、情報発信・普及啓発を重点的に実施

- 期 間 平成31年1月11日～平成31年2月3日（24日間）
- 主な取組み
 - ・ 高齢者の事故防止を前面に押し出したチラシを高齢者が集まる集会で配布
 - ・ 民生委員等の協力を得ながら、全戸個別訪問を実施
 - ・ スーパーやイベント会場等における街頭啓発の実施 等

③ 山形県雪情報システムの運用

県内12地点におけるきめ細やかな降雪予測情報や、気象庁発表情報等を提供

昨年度は、雪氷防災研究センターの「雪おろシグナル」システムサイトとのリンクにより、適切な屋根の雪下ろし時期の判断材料（屋根雪の積雪重量等）も併せて提供※

- 運用期間 平成30年11月13日～平成31年3月31日
- 閲覧件数 300万件（H30）

※ 「雪おろシグナル」

屋根の雪下ろしを行う時期が適切に判断できるように、県内の各地域における現在の積雪重量や、前回の雪下ろしを実施した以降の屋根の積雪重量をミラーリングし提供するシステム



システム画面

11



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

④ 高齢者の雪害事故防止に向けた普及啓発活動

高齢者の雪害事故防止に向けて、高齢者の購読率が高い新聞を活用した普及啓発や、高齢者をターゲットとしたチラシの作成、集会等での対面的なチラシ配布などを実施



啓発チラシ①



山形新聞掲載広告 3回分



啓発チラシ②

12



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

⑤ 地域の除排雪等への支援

少子高齢化、人口減少に対応して、地域の除排雪の担い手、又は要援護者世帯の除排雪の担い手（協力者）を確保するため、以下の施策を主に実施

- 市町村総合交付金（雪対策事業分）による効果的な雪対策の推進
- 広域除雪ボランティア「やまがた除雪志隊」による除雪活動
- 雪下ろし有償ボランティア普及モデル事業の実施

⑤-I 市町村総合交付金（雪対策事業分）による効果的な雪対策の推進

地域の実情に的確に対応した雪対策を推進するため、市町村が計画的に実施するハード・ソフト両面からの取組みを幅広く支援

- H30交付額 83,400千円（全35市町村が活用）
- 市町村の主な取組み
 - 要援護者宅の除排雪への支援
 - 空き家の屋根の雪下ろし・除排雪
 - 自治会等が行う地域一斉除排雪への支援
 - 地域の共助による除排雪に必要な資機材の整備 等



令和元年度は「いきいき雪国やまがた推進交付金」として独立・創設するとともに新たに「豪雪対策枠」を設けるなど、市町村の克雪対策への支援を強化（予算額：90,000千円）

13



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

⑤-II 広域除雪ボランティア「やまがた除雪志隊」による除雪活動

地域における除排雪の担い手確保のため、県内外から幅広く除雪ボランティアを募り、「やまがた除雪志隊」として登録し、広域的な除雪活動を推進
(除雪志隊の交通費や宿泊費等の活動経費を助成)

- 登録者数 968名
- H30活動状況 136名活動 (7市町村の12開催分へ参加)



除雪活動の様子(尾花沢市)

⑤-III 雪下ろし有償ボランティア普及モデル事業の実施

高齢者の屋根からの転落事故防止に向けて、代わりに屋根の雪下ろしを行う有償ボランティアの仕組みの構築を、市町村と連携して推進

- 実施市町村 朝日町、大石田町、庄内町
- 実施内容
 - ・ 有償ボランティア団体向けの雪下ろし講習会
 - ・ 有償ボランティア団体の雪下ろし活動へ助成



雪下ろし講習会の様子(朝日町)

14



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

テーマIII 雪国の暮らしを守る基盤整備

1. 取組方向

(1) 快適な歩行空間の確保

- ・ 中心市街地における無散水消融雪施設の整備
- ・ 県道における効率的な排雪に向けた流雪溝の整備 等

(2) 雪に強い道路交通の確保

- ・ 雪崩や地吹雪等による交通障害を防止するための防雪柵及び雪崩防止施設等の整備
- ・ 信号機への着雪防止及び凍結防止対策の実施 等

(3) 防災に係る基盤整備及び防災体制の確立

- ・ 雪崩災害の発生の防止に向けた危険箇所の監視及び雪崩防止施設等の整備
- ・ 豪雪時における関係機関との連携・協力体制の構築及び災害救助法の迅速な適用

2. 現状 (H30)

- 無散水消融雪施設の整備延長 **1.4 km** / 計画 : 1.3km
- 押しボタン式信号機のタッチセンサー化 **1,480個** / 計画 : 1,460個
- 県道における流雪溝の整備延長 110.8km / 計画 : 111km
- 堆雪幅が確保された道路の整備延長 702.9km / 計画 : 708.9km
- 車両用信号機着雪防止対策の実施 2,440灯 / 計画 : 2,550灯

15



参考) いきいき雪国やまがたづくり宣言について

いきいき雪国やまがたづくり宣言

すべての県民が安心して暮らし、雪国ならではの文化や雪まつりなどを楽しみ、国内外から多くの人々が訪れる「いきいき雪国やまがた」を創り上げていくため、以下の取組みを進めます。

- 1 雪の持つマイナス面を受け止め、協力し支えあいながら、雪とともに暮らしていきます。
- 2 先人が育んできた雪国の豊かな文化や精神性を誇りに思い、未来に向けて磨き上げていきます。
- 3 雪を地域の魅力や資源としてプラスに捉え、雪国ならではの産業振興と地域活性化に繋げていきます。

平成28年11月25日
いきいき雪国やまがた県民会議